【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2007-144163(P2007-144163A)
【公開日】平成19年6月14日(2007.6.14)
【年通号数】公開・登録公報2007-022
【出願番号】特願2006-313703(P2006-313703)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　5/01　(2006.01)
Ｇ０１Ｊ　5/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/00　１０１Ｋ
Ｇ０１Ｊ　5/00　１０１Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成20年2月28日(2008.2.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
鼓膜体温計のプローブのためのプローブカバーであって、
長手軸、体温計プローブを受容するための近位端部における開口部、及び、前記近位端部と略反対側の遠位端部にフィルムの窓を有する略管状の本体と、
前記本体の前記遠位端部から前記長手軸に向かって径方向の内方に延在するとともに、前記長手軸周りの周方向に延在し且つ前記窓の境界線を画成する内側縁部を有するフィルム支持部と、
を備え、前記フィルムの窓は前記フィルム支持部の遠位端部におけるフィルム支持面にて固定され且つ前記フィルム支持部の前記内側縁部を越えて延在し、前記フィルムは前記フィルム支持面に渡り且つ実質的に前記本体の外側端に向けて延在し、
更に、
前記本体の前記遠位端部の内周周りに離隔されて配設される複数の端部リブであって、前記端部リブのそれぞれが前記体温計プローブの遠位端部と係合するとともに前記体温計プローブと前記フィルムとを接触させないように配置されたリブを備え、前記フィルム支持部の前記内側縁部は前記複数の端部リブのそれぞれの横断部と同じ距離だけ内方に延び、且つ、前記端部リブの少なくとも一部が前記フィルム支持部と合流し、
前記プローブカバーが前記窓を通る赤外線放射に対して実質的に透明であり、且つ、前記窓の境界線には前記窓の平面における隅部が実質的に存在しないプローブカバー。
【請求項２】
請求項１に記載のプローブカバーにおいて、
前記フィルム支持部の前記内側縁部には外方に湾曲する部分が実質的に存在しないプローブカバー。
【請求項３】
請求項１に記載のプローブカバーにおいて、
前記窓の前記境界線には前記窓に突出する部分が実質的に存在しないプローブカバー。
【請求項４】
請求項３に記載のプローブカバーにおいて、

前記窓の前記境界線が概して滑らかであり且つ連続しているプローブカバー。
【請求項５】
請求項４に記載のプローブカバーにおいて、
前記窓の前記境界線が実質的に円形であるプローブカバー。
【請求項６】
請求項１に記載のプローブカバーにおいて、
前記フィルム支持部が前記本体と一体に形成されるプローブカバー。
【請求項７】
請求項６に記載のプローブカバーにおいて、
前記端部リブが前記本体と一体に形成されるプローブカバー。
【請求項８】
請求項１に記載のプローブカバーにおいて、
前記端部リブのそれぞれが、前記フィルム支持部の表面に沿いながら前記長手軸に向かって径方向の内方に延在する突起部を備えるプローブカバー。
【請求項９】
請求項８に記載のプローブカバーにおいて、
前記端部リブの前記突起部が前記長手軸に向かって前記フィルム支持部の前記内側縁部よりも遠くに延在していないプローブカバー。
【請求項１０】
請求項８に記載のプローブカバーにおいて、
前記フィルム支持部の前記内側縁部が前記長手軸に向かって前記突起部よりも遠くに延在するプローブカバー。
【請求項１１】
請求項１に記載のプローブカバーにおいて、
前記本体が前記遠位端部に隣接する弧状面を有し、且つ、前記フィルムが前記弧状面に固定されているプローブカバー。
【請求項１２】
請求項１に記載のプローブカバーにおいて、
前記フィルム支持部が、前記本体の前記遠位端部にて、前記窓の全面積の少なくとも約２０％の面積を有する略環状の領域を有する表面であって遠位側に面する実質的に平坦な表面を画成するプローブカバー。
【請求項１３】
鼓膜体温計のプローブのためのプローブカバーであって、
長手軸、体温計プローブを受容するための近位端部における開口部、及び、前記近位端部と略反対側の遠位端部における窓を有する略管状の本体であって、前記近位端部から前記遠位端部まで概して延在する内周面を画成する本体と、
前記本体の前記遠位端部から前記長手軸に向かって径方向の内方に延在するとともに、前記長手軸周りの周方向に延在し且つ前記窓の境界線を画成する内側縁部を有するフィルム支持部と、
前記本体の前記遠位端部における複数の端部リブであって、前記端部リブは更に横断部を備え、前記内側縁部及び前記端部リブの前記横断部は前記略管状の本体の前記長手軸の中心線に向かって内方に同一距離だけ実質的に延びる、端部リブと、を備え
前記フィルムは前記フィルム支持部の遠位端部におけるフィルム支持面にて固定され且つ前記フィルム支持部の前記内側縁部を越え、前記フィルムは前記フィルム支持面に渡り且つ実質的に前記本体の外側端に向けて延在し、
前記プローブカバーが前記開口部に受容された前記体温計プローブの遠位端部と前記フィルムとの間の間隙を維持するように構成されるとともに、前記間隙が前記本体の前記内周面と前記体温計プローブの側面との間の領域に延在し、更に、前記プローブカバーが前記窓を通る赤外線放射に対して実質的に透明であり、且つ、前記窓の境界線には前記窓の平面における隅部が実質的に存在しないプローブカバー。

【請求項１４】
請求項１３に記載のプローブカバーにおいて、
前記開口部に受容される体温計プローブと組み合わされるプローブカバー。
【請求項１５】
請求項１４に記載のプローブカバーにおいて、
前記フィルム支持部の前記内側縁部には外方に湾曲する部分が実質的に存在しないプローブカバー。
【請求項１６】
請求項１５に記載のプローブカバーにおいて、
前記窓の前記境界線には前記窓に突出する部分が実質的に存在しないプローブカバー。
【請求項１７】
請求項１６に記載のプローブカバーにおいて、
前記窓の前記境界線が概して滑らかであり且つ連続しているプローブカバー。
【請求項１８】
請求項１７に記載のプローブカバーにおいて、
前記窓の前記境界線が実質的に円形であるプローブカバー。
【請求項１９】
請求項１３に記載のプローブカバーにおいて、
前記フィルム支持部が前記本体と一体に形成されるプローブカバー。
【請求項２０】
請求項１９に記載のプローブカバーにおいて、
前記端部リブが前記本体と一体に形成されるプローブカバー。
【請求項２１】
請求項１３に記載のプローブカバーにおいて、
更に、複数の端部リブであって、それぞれが前記フィルム支持部の表面に沿いながら前記長手軸に向かって径方向の内方に突出している端部リブを備えるプローブカバー。
【請求項２２】
請求項２１に記載のプローブカバーにおいて、
前記端部リブが前記長手軸に向かって前記フィルム支持部の前記内側縁部よりも遠くに延在していないプローブカバー。
【請求項２３】
請求項２２に記載のプローブカバーにおいて、
前記端部リブのそれぞれが前記フィルム支持部の前記内側縁部と面一である内側縁部を有するプローブカバー。
【請求項２４】
請求項１３に記載のプローブカバーにおいて、
前記本体が前記遠位端部に隣接する弧状面を有し、且つ、前記フィルムが前記弧状面に固定されているプローブカバー。
【請求項２５】
請求項１３に記載のプローブカバーにおいて、
前記フィルム支持部が、前記本体の前記遠位端部にて、前記窓の全面積の少なくとも約２０％の面積を有する略環状の領域を有する表面であって遠位側に面する実質的に平坦な表面を画成するプローブカバー。